高等部道徳科学習指導 『夏祭りの練習』

**１　主題名**　郷土の伝統を受け継ぐ　　C-（16）　郷土の伝統と文化の尊重　郷土を愛する態度

**2　ねらいと教材**

（1）ねらい

・郷土の伝統を受け継ぐ

・自分たちが住んでいる郷土の伝統と文化を受け継ぐ気持ちをもつ。

・地域の一員であることの意識をもち、意欲的に地域の行事に参加する。

（2）教材　　夏祭りの練習　（P76-7９）

**３ 主題設定の理由**

本主題は、以下の中学校新学習指導要領「特別の教科 道徳」（平成２９年３月告示）の内容項目のねらいを受け、個々の生徒の知的障害の状態、生活年齢、学習状況及び経験等に応じるとともに、青年期の特性を考慮して、健全な社会生活を営む上に必要な道徳性を一層高めるために、適切に指導の重点を定め、指導内容を具体化した。

|  |
| --- |
| C主として集団や社会との関わりに関すること　（１６）　郷土の伝統と文化の尊重　郷土を愛する態度郷土の伝統と文化を大切にし、社会に尽くした先人や高齢者に尊敬の念を深め、地域社会の一員としての自覚をもって郷土を愛し、進んで郷土の発展に努めることを深めること |

(1)ねらいとする道徳的価値について【価値観】

私たちは、家族や社会に尽くした先人、高齢者などの先達によって自分が支えられて生きていることを自覚する。また、それらの人々への尊敬と感謝の気持ちを深めることは極めて大切なことである。

郷土や地域を愛し、積極的・主体的に関わり、郷土のために自分ができることは何かを考え、郷土の発展のために自分が寄与しようという意識を高めたい。

（２）生徒の実態について【生徒観】

言葉でのコミュニケーションがおおむね可能である生徒を対象とする。体験的な活動を取り入れたり視覚的、聴覚的な教材を用いたりし、言葉での理解が難しい生徒にもねらいが伝わるように配慮する。

学習においては、生活単元学習や総合的な探究の時間等を中心として進める。また、音楽科や社会科、家庭科などとも関連させ、自分たちが住んでいる地域のお祭りや、産業等の特色、または伝統的な衣装など、広い視野で発展させながら指導していく。

地域のお祭りや行事とも関連付け、自分自身のこととして考えを深められるように、家庭や地域との連携を深めておく。

（３）教材について【教材観】

夏祭りの練習をする中で、地域の方から昔の話を聞き、先人が郷土のために祭り太鼓が途絶えないように取り組んできたことを知り、自分も地域のために、祭り太鼓の練習に、より一層気持ちを込めて取り組む話を紹介している。

まずは、自分たちの地域にお祭りがあるか、行ったことはあるか、お祭りの良いところはどこかなど質問する。そのあと、本文を読んで、主人公の悠翔さんが何故祭り太鼓をいつも以上に力を込めて叩いたのかを推測する学習を行う。最後に、自分たちの生活につなげ、地域のお祭りを行っている先人の方たちはどのような思いで取り組んでいるか、また、地域での行事に参加するとしたら、どのような気持ちで参加したいか、などを補助プリントに記入することで、「ただ楽しいだけのお祭り」という知識に加え、自分たちが住んでいる地域の伝統と文化を大切にする気持ちや、地域の一員であることの意識をもつことができる教材となっている。

**４　学習指導計画**

（1）全体計画　１時間（本時）

（2）準備　　　場面絵、学校のある地域のお祭りの動画、補助プリント

（3）指導過程

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 段階 | 時間 | 学習活動（主な発問） | 予想される生徒の発言 | 指導上の留意点☆評価の観点 |
| 導入 |  | １　自分たちの住んでいる地域のお祭りについて質問する。（知っているか、行ったことがあるか、お祭りのどんなところが良いか）・学校のある地域の、お祭りの動画を見てイメージをもつ。 | ・ある。・分からない。・知っている。・行ったことある。・屋台があって楽しい。・食べ物がおいしい。 | ・お祭りについて、知っている知識やこれまでの経験を振り返る。・お祭りのどんな点が印象に残っているかを確認し合う。☆お祭りについて発言しているか。（思・判・表）・生徒の発言を板書で残しておく。 |
| 展開 |  | 2　教材　　「夏祭りの練習」を読み、話し合う。〇何故、悠翔さんは、山中会長の話を聞いたあと、いつも以上に力強く太鼓を叩いたのでしょうか。・本文P７８の欄に自分や友達の考えを記入する。課題　地域の伝統を大切にする気持ちに気付き、自分だったらどうするのか考えよう　〇山中会長はどんな思いで祭り太鼓を教えているのでしょうか。・補助プリントに自分や友達の考えを記入する。〇もし、今後地域のお祭りに太鼓演奏や踊り、お店番などで参加するとしたら、どんな気持ちで参加したいですか。・補助プリントに自分や友達の考えを記入する。・P７９「広げよう」で、自分が住んでいるところにある伝統や文化を見つける。 | 課題　悠翔さんが、山中会長の話を聞いたときの気持ちを考えよう。・お父さんも太鼓を叩いていたと知ったから。・戦争があり、途絶えそうになっていた祭り太鼓を町の人が頑張って復活させたと知ったから。・上手になってほしい・頑張ってほしい・祭り太鼓がずっと続いてほしい・一生懸命な気持ち・頑張って太鼓を叩く・みんなと協力して成功させたい・教えてくれた人に感謝して叩く | ・山中会長のセリフを絵カードで表したものを掲示し、悠翔さんが感じたことを想像できるようにする。☆自分の考えを発表したり、友達の考えを聞くことができたか。（思・判・表）・山中会長や地域の方が子供たちに太鼓を教えているイラストを提示する。☆自分の考えを発表したり、友達の考えを聴くことができたか。（思・判・表）・一生懸命太鼓を叩いている悠翔さんのイラストを提示する。☆お祭りが地域のために行われていることを理解し発言したり、補助プリントに記入したりしているか。（知・技）・インターネット等で調べさせる。 |
| 終末 | 8分 | 3　お祭りに対して抱く感想が、学習前と学習後でどう変化したか確認する。 |  | ・板書を確認し、学習前と後とで、お祭りに対する考えが変化したことに気付けるようにする。 |

（4）終末での教師の説話例

板書を振り返りながら、学習前は地域のお祭りに対して抱いていた「楽しい」や「おいしいものが売っている」などの印象が、山中会長や悠翔さんの気持ちを学習することで、地域の方々のいろいろな思いが受け継がれているということを知ることができた点を確認する。

今後、お祭りや地域のイベントなどに参加するときに頑張ろう。よいものにしよう。という気持ちをもつことができたことを伝える。

その思いが、住んでいる地域をより素敵なものにしていくことにつながることを伝える。